

お元気ですか

公立富岡総合病院ニュース
2012年12月
第59号



結核について インフルエンザについて

看護部 神宮真奈美さんの人命救助

NST

職場紹介

地域医療連携だより



公立富岡総合病院
院長 佐藤尚文

地域医療連携だより

- 「お元気ですか」をリニューアル
- 主な業務内容
 - ・医療福祉相談
 - ・医療サービス
- 相談受付時間と場所



「Let's begin together!」
「お元気ですか」をリニューアル
リニューアルすることになりました。写真や図表のカラー化にともない光沢紙の採用となりました。
省資源、省エネとは逆方向との御指摘もあるかと思いますが、その分内容の充実をはかり、地域連携にも寄与する詳細な情報の提供をさせて頂くことで、御容赦ください。
日本の百歳以上が5万人を超えたことが報道されました。世界で誰も経験したことのない超高齢化社会という海を正確な海図なく航行しています。今まで医療は、ともかくより遠くに到達することを目的としてきました。より馬力のあるエンジンを開発しともかく遠くに到達することが由とされてきました。しかし誰よりも遠くに到達した今、医療は航海そのものを楽しみ、周りの景色や共に航海する仲間との時間が大切だと気がつき始めました。到達する距離を自慢するのではなく、その過程や風景や仲間との時間を味わうことが大切であるという考え方です。医療とは何か？何のためにあるか？という命題を常に意識しつつ、QOL（生活の質、人生の質）を追求した医療を、地域の皆様と共に考え、形作って行きましょう
“Let's begin together!”



『お元気ですか』の
リニューアルに寄せて

季刊で発行され59号を迎える公立富岡総合病院ニュース、お元気ですかが、

お逢者ですか？ 結核について

飯塚 邦彦

今年平成24年の9月24日から30日は結核予防週間でした。皆さん結核なんて過去の病氣と誤解していませんか。いい結核は間違いなく現代の病氣なのです。

世界遺産登録をめざしている富岡製糸工場が現役のころ、結核は「国民病」「亡国病」と恐れられ日本人の死因第1位でした。NHKのドラマ「坂の上の雲」でも香川照之演ずる正岡子規が脊椎カリエス（背骨の結核）に苦しみながらも俳句を作り続ける姿が描かれていました。日本では生活水準の向上や保健所を中心とした公衆衛生活動、そして抗結核薬の使用で結核は舞台のセンターからは外れましたが、舞台を降りたわけではありません。今でも毎日64人の新しい患者が発生し、6人亡くなっているのです。そういえばお笑いタレントや群馬県出身の男性ファッションモデルが肺結核で入院、療養のため活動休止したなど思い出した方も多いことでしょう。国内では未だ毎年2万3千人以上の結核患者が発生しています。群馬県では平成23年263人の新規患者が登録され、県内で34人の方がこの病氣が原因で亡くなっているのです。

1882年にロベルト・コッホが発見した結核菌ですが、人類と結核菌どちらが先

に地球上に出現したのでしょうか。最近の遺伝子研究によれば実は結核菌の方が新参者なのです。ヒトの遺伝子、ゲノム解析は21世紀になされました。ヒトのミトコンドリアやY染色体という遺伝子解析から、現代人は15万年ほど前にアフリカで生まれ、4〜5万年前にアフリカから世界中に広がったというのが定説です。結核菌のゲノム解析を行うとその祖先（非結核性抗酸菌）は350万年前に環境中にいたようですが、それがヒト専門に感染するように進化した、すなわち結核菌が誕生したのは3万5千年前あたりの中央アジアのようです。空気感染する結核は文明の発達と人口の増加とともに更に進化し、9,000年前のメソポタミア文明の人骨やエジプトのミイラから子規と同じ脊椎カリエスの病変や結核の遺伝子が分離されています。

結核の症状自体は力ゼなどと類似しており、症状だけで結核と決めつけることはできません。しかし微熱、咳などの症状が良くならずに2週間以上持続する場合や、半年で3 kg以上の体重減少、あるいは寝汗など思いあたる方は結核の可能性も考えて、もよりの医療機関を受診してください。注意する点として、結核の患者の中には最初は肺炎と診断されて治療を受ける人がいることです。これは熱や咳があつてレントゲンで影があるという所見は肺炎と共通しているので区別が難しいためです。さらに複雑なことにニューキノロンと呼ばれる抗菌薬は種々の細菌性肺炎によく効く重宝な薬ですが、これが結核菌にも部分的に効いてしまつて一時的

に症状が改善してしまうことがあります。しかし、結核が完全に治ることはないのです。しばらく後に症状がぶり返します。事実、薬の効きにくいマイコプラズマ肺炎として紹介となった若い結核患者さんが当院にもいらつしました。

こんなわけで結核の可能性を考えて2週間以上長引く力ゼ症状があつた場合は医療機関を受診する、定期健康診断を受けて健康管理を行うなどの注意が今日でも重要なのです。



インフルエンザ予防

〈内科〉石塚 隆雄

日に日に寒くなってきました。インフルエンザの本格的なシーズンです。インフルエンザは一般の風邪が鼻水やのどの痛みが中心の症状であるのに対して、39℃を超えるような高熱や関節痛を主症状とします。小児では痙攣などの症状がでることがあります。例年12月下旬から3月上旬まで流行のピークを迎えますが、インフルエンザにならないためにはどうしたらよいでしょうか。

インフルエンザは人から人へうつっていく感染症です。インフルエンザ患者が咳をするとウイルスを含んだ小粒子が飛び散ります。この粒子を「飛沫」といいます。飛沫は1m〜2m飛びますので、学校の教室などではあつという間に感染がひろがってしまうわけです。ですから咳をしている人とはなるべく距離をとる、相手にマスクをしてもらうなどのお願ひも大切です。



また、飛沫の中に含まれるウイルスはテーブルやドアノブなどに付着して長時間生きていることもあります。このように物に付着したウイルスが自分の手につき、手で口や鼻、目などに触れることによって感染が成立する場合があります。予防にはやはり手洗いというがいが大切ということになります。

また、冬は部屋が乾燥する時期ですが、湿度が乾燥した状態ではウイルスが長期間活性化しやすいと言われています。部屋が乾燥するのとも荒れやすく、ウイルスに対する抵抗力も減弱します。特に暖房を利用するときなどは加湿器や洗濯の部屋干しを利用して適度な湿度を保ちましょう。

これから年末にかけて忙しい時期ですが、からだが疲労しているとウイルスに対する抵抗力も落ちます。十分な睡眠・休養

と食事を摂ってからだの調子を整えましょう。

もうひとつ、予防接種を受けることも大切です。インフルエンザの予防接種を「風邪の予防接種」と言っている人もいますが、いわゆる風邪症候群とインフルエンザはまったく違うもので、風邪を予防する効果はありません。毎年、専門家が来シーズンに流行すると思われるインフルエンザの種類を予想し、A型2種類とB型のワクチンを製造しています。ですから、予測がはずれると予防効果があまり期待できないということになります。予防接種をしたら安心というわけではないので、引き続き健康管理に気をつけましょう。

最後に、インフルエンザの予防は一般の風邪や感染性の胃腸炎などの予防とも共通することが多いので、冬だけでなく、1年中心がけることをお勧めします。



大切な命を救う 一人の女性

当院保健師の神宮真奈美さんが、7月15日横浜市内の歩道上にて倒れていた傷病者に対し救命処置を行い、命を救うことに成功いたしました。その功績が称えられ、横浜市栄消防署長より感謝状が授与されました。この一件について本人へインタビューを行い、「お元気ですか」に掲載する次第となりました。以下インタビュー内容です。

Q

自己紹介をお願いします。

- ①看護経験年数2年。
- ②趣味：旅行、映画鑑賞。
- ③好きな食べ物：焼肉、お寿司。
- ④休日の過ごし方：買い物、ドライブ。
- ⑤好きな言葉：明朗闊達



Q

傷病者発見時の状況を教えてください。

ドライブの途中、人が倒れているのを発見しました。現場は下り斜面でその人の周りには2～3人の人達がいました。倒れてる方の肩を叩きながら声掛けをし、脈や呼吸の有無を確認した後心臓マッサージを開始しました。傷病者が下顎呼吸を始めた直後に、その道を通りかかった医師が駆けつけてくれました。

Q

心肺蘇生を行っているときの心境は？

無我夢中でした。パツと頭に浮かんだのが病棟の勉強会で学んだBLSです。BLSの講義を受けていたからこそ、体が自然と動くことができたのだと思います。自分でもビックリしましたが、通りかかった医師が『心臓マッサージを』代わるよ。』と言ってくれたときは安心しました。

Q

無事に退院されたと聞いたときどう思われましたか？

私が駆けつけたときは心肺停止状態だったので、どこまで回復するか心配していたのですが、退院の連絡をいただいたときはとても嬉しかったです。倒れているのを発見した時に迷いはありましたが、命を救うことに貢献できたことを思うと、駆けつけて本当に良かったです。

Q

感謝状が授与されたことによる周りの反響は？

先輩や同僚、他部署の方々から『すごかったね』『期待してるよ』と声をかけていただき嬉しく思います。その声に今後も応えられるように、様々な経験を積み重ねて看護師として成長していきたいです。

Q

今回の経験によって看護に対する想い等に変化はありましたか？

人が倒れているのを発見したとき、駆けつけることに一瞬迷いもありましたが、ここで離れてしまったらこのことをずっと引きずってしまうと思いました。この経験を通し、今後急変した方を目の前にしたときの対応に自信を持つことができました。より一層の看護経験を積み、知識と技術を身につけて適切な判断と行動ができるようになりたいと思います。

NST専任チーム・NST専門療法士を紹介します

NST専門療法士 管理栄養士 戸塚智恵子

NST (Nutrition Support Team) とは、職種の壁を越えて、患者様の栄養サポートを実施する多職種の集団(チーム)のことです。当院のNSTメンバーは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士をはじめ、歯科医師、臨床検査技師、言語聴覚士、歯科衛生士、事務職員など、院内のあらゆる職種で構成されています。また、NST加算において厚生労働省が提示した所定の研修修了者で構成される、NST専任チームも結成されています。専任チームメンバーには、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士が登録されていますが、そのうち6名は、日本静脈経腸栄養学会の認定資格である「NST専門療法士」です。

NST専任チームメンバーと各職種の主な役割について紹介します。



医師

病状・主治医の治療方針を把握し、栄養療法の適応を決定します。主治医とNSTメンバーの仲介や、各分野の専門医としての意見も提言します。

また、NSTメンバーの教育と他の医師への啓発も行います。



看護師

栄養不良のリスクの高い患者さんを抽出します。

患者さんの一番近くにいる、患者さんの生の情報を他職種へ伝えます。すべてのスタッフへの橋渡的存在です。



薬剤師

輸液類の無菌調整や誤投薬のチェックを行います。また、他職種への栄養療法関連製剤の情報提供や、患者さんやその家族に、栄養薬剤の説明や服薬指導を実施します。



管理栄養士

患者さんが実際に摂取している食事量から、栄養量を計算して栄養評価します。食事内容や経腸栄養剤、栄養補助食品の特徴などを他職種に情報提供し、適切な食事、食形態を提案します。また、必要時には栄養指導を実施します。

各職種の専門性を生かし、あらゆる視点から患者様の『栄養』を考え、よりよい栄養管理が実施できるよう、多職種で力を合わせて活動しています。

シリーズ職場紹介 3 B病棟 病棟マネジャー

松井 千浩

だんだん寒くなってきましたが、皆さん健康管理は大丈夫ですか。「風邪かな?」と思う前に、うがい手洗いを毎日実施しましょうね。また、冬の厳しい寒さに負けないよう、栄養も十分にとりましょう。

それでは、病棟の紹介をさせていただきます。当病棟は、泌尿器科・脳神経外科・皮膚科の計44床の混合病棟です。現在は4A病棟改修中のため、外科病棟スタッフも一緒に協力しながら働いています。スタッフ達は、毎日多忙に行動していますが、笑顔を絶やさない病棟です。そして、患者さんの情報を病棟スタッフ全員が理解できるように、毎日カンファレンスを実施しています。また、他職種との連携を持つために、週1回はカンファレンスを持つようにしています。患者さんが、安心して入院生活が送れるように、個々にあった計画を立てるように心掛けています。入院した患者さんは、安心して治療に専念していただける病棟です。



もう一つ、昨年度から病院の改修工事が始まり、当病棟が一番最初に、明るい雰囲気に変身しました。中でも、4人部屋にトイレがつくようになりましたので、足の悪い人や、高齢者の人も安心して排泄を実施することができます。



スタッフは、明るく優しい態度で接するようにしていますので、いつでも来院した時には、病棟見学に来てください。

地域医療連携だより

『お元気ですか』のリニューアルにともない、このたび、地域連携室だより、がスタートすることになりました。

地域医療連携室は近隣の医療機関との医療連携窓口として、他病院への紹介、診療や療養に関連する様々な相談を行っています。ソーシャルワーカーや看護師が専門的な知識をもとに相談に応じます。



主な業務内容

《医療福祉相談》

- ・他医療機関への紹介や施設等の相談
- ・訪問看護等の介護サービスについての相談
- ・外来・入院患者またはご家族の心配ごとや不安などの相談
- ・医療・福祉制度など各種社会資源のご案内

《医療サービス》

- ・カルテ開示の受付
- ・各種予防接種の予約
- ・病院ボランティアの受け入れ
- ・医療サービスについてのご意見等の相談

【相談受付時間と場所】

月曜日～金曜日 9時～17時

病院サービス課地域医療連携室

☎ 0274-62-2111(代表) ☎ 0274-64-1406

✉ tomihp@mail.gunma.med.or.jp

※予約制ではありませんが、事前にご連絡をいただければお待たせすることなくご相談に応じます。



各科別外来医師診療日日程表

平成24年10月現在

	月			火			水			木			金		
内 科	内分泌・DM	呼吸器	初 診	内分泌・DM	呼吸器	初 診	内分泌・DM	呼吸器	初 診	呼吸器	内分泌・DM	初 診	内分泌・DM	呼吸器	初 診
	登内	石塚	増淵	永井	飯塚	登内	永井	石塚	根岸・飯塚 (1・3・5週) (2・4週)	増淵	田嶋	飯塚	永井・根岸	飯塚	石塚
	内分泌 永井	呼吸器 梅枝		小林 (14:00～15:00)			血 液 ※群大 三内		HOT外来 第2 第3 石塚・飯塚						
神経内科	院内紹介のみ ※			紹介のみ ※											
消化器科	迫	初 診 関口		猿谷	初 診 吉田		関口	初 診 齋藤		吉田	初 診 迫		渋谷	初 診 猿谷	
				肝 臓 ※高崎総合 齋藤						肝 臓 ※高崎総合 ※群大					
循環器科	加藤	初 診 瀬田	杉戸	初 診 金子			田村	初 診 加藤	金子	初 診 杉戸	※金古		初 診 田村		瀬田
心療内科	横川			横川	※山崎		横川			横川			横川		
	横川 予 約			横川 予 約	※山崎 予 約		〈休診〉			横川 予 約			〈休診〉		
小児科	小須田	渡邊		小須田	五十嵐		渡邊	五十嵐		小須田	渡邊		小須田	五十嵐	
	乳児健診(2ヶ月～)・予防接種 小須田・渡邊			心 臓	腎 臓		喘 息 ※荒川・西田 (1・3・5週) (2・4週)						1ヶ月乳児健診 小須田・五十嵐		
外 科	佐藤	野田		※飯島	血 管 尾形		井上	乳 腺 五十嵐・野田		尾形	門脇		佐藤		
													HPN・ストマ 佐藤		
整形外科	脊 椎	初 診	処 置	股	膝	股	初 診	小野	(隔週) 松原・原	処 置	安藤	股・ウマ子	脊椎	初診	処置
	柘植・松原	原	永野	小林	小野	土田	永野					小林	松原	土田	日尾・小野 (1・3週) (2・4週)
				股関節 小林 (第1・3週)予約のみ										脊 椎 柘植・原	安藤
産婦人科	矢崎 淳	矢崎 千	佐藤	矢崎 淳	矢崎 千	佐藤	鹿沼	矢崎 千		矢崎 淳	鹿沼	産婦人科医師	鹿沼	矢崎 千	星野
				手 術	母乳教室			手 術					産後1ヶ月健診 ※星野	矢崎 千	
泌尿器科	田中 予 約	初 診 塩野		牧野 予 約	初 診 田中		町田 予 約	初 診 中山		小林 予 約	初 診 町田		塩野 予 約	初 診 町田	
	田中 予 約	柴山 予 約		牧野 予 約	小林 予 約		CAPD 町田 予約(15:30～)	中山 予 約		小林 予 約			排水機能 塩野 予 約	田中 予 約	
皮膚科	渡辺			渡辺			渡辺			渡辺			※群大		
	渡辺 (15:00～)			渡辺 (15:00～)			〈休診〉			渡辺 (15:00～)			渡辺 (15:00～)		
脳外科	寺崎			三隅			〈休診〉			三隅			寺崎		
眼 科	小林	馬郡		小林	馬郡		小林	馬郡		小林	馬郡		小林	馬郡	
	手 術			予約検査・治療			予約検査・治療			手 術			予約検査・治療		
耳鼻科	1人病棟回診 松井・若旅 (10:30～)			1人病棟回診 松井・若旅 (10:30～)			1人病棟回診 松井・若旅 (10:30～)			1人病棟回診 松井・若旅 (10:30～)			1人病棟回診 松井・若旅 (10:30～)		
	手 術			特殊外来			予約検査・外来手術			手 術			特殊外来		
歯科・口腔外科	佐々木	金井	菅原	佐々木	金井	菅原	初 診	手 術		佐々木	金井	菅原	佐々木	金井	菅原
							手 術								
放射線科	放射線治療 ※岡野	前原 (1・3・5週)	高野 (2・4週)	前原	高野		前原	高野		前原	高野		前原	高野	
	放射線治療 ※岡野	前原 (1・3・5週)	高野 (2・4週)	前原	高野		放射線治療 ※清原	IVR ※宮崎	前原 高野	前原	RI ※樋口	高野	放射線治療 ※田巻	前原	高野
麻酔科							嶋田or宮崎or澤野 (13:00～15:00)								
病理診断科	本間			本間			本間・佐々木			本間			吉田・田中 (1ヶ月に2回半日)		

午前診療 午後診療 一日診療 ※ 非常勤医師